

平成20年度 定期作況報告

(9月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

I 気象概況

8月下旬：平均気温は平年より2.0℃低く、降水量は平年の76%、日照時間は平年の74%であり、低温、少雨、寡照に経過した。

9月上旬：平均気温は平年より2.2℃高く、降水量は平年の38%、日照時間は平年の123%であり、高温、少雨、多照に経過した。

9月中旬：平均気温は平年より0.8℃高く、降水量はほとんどなく、日照時間は平年の165%であり、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の41%、日照時間は平年の120%であり、少雨、多照に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	22.4	24.9	△ 2.5	26.6	23.9	2.7	24.2	21.9	2.3	24.4	23.6	0.8
最低気温(℃)	15.4	17.0	△ 1.6	16.9	15.3	1.6	12.6	13.4	△ 0.8	15.0	15.3	△ 0.3
平均気温(℃)	18.9	20.9	△ 2.0	21.8	19.6	2.2	18.4	17.6	0.8	19.7	19.4	0.3
降水量(mm)	45.0	59.2	△ 14.2	14.5	38.1	△ 23.6	0.0	48.0	△ 48.0	59.5	145.3	△ 85.8
日照時間(hr)	39.9	54.0	△ 14.1	65.0	52.8	12.2	82.3	49.8	32.5	187.2	156.6	30.6

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成10～19年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

最高、最低気温は期間内の平均値、平均気温は各日最高、最低気温の平均で期間内の平均値をそれぞれ用いた。

降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

II 作 況

5月20日 やや不良

事由:本年は根雪終日が10日早く、圃場の乾燥が早かった。播種は平年より1日早い4月18日に行った。播種後の好天により、出芽まで5日で、出芽揃も概ね良好であった。4月下旬から5月上旬は好天が続いた。しかし、5月10日前後で最低気温が0℃前後となった日が数日続き、特に、5月10日は-0.8℃まで冷え込んだ。また、5月中旬は、曇天などにより気温、日照時間ともに平年より下回った。そのため、苗の生育は遅延した。移植は平年並の5月21日に行った。

移植時における苗質は、茎数、主稈葉数は両品種ともにほぼ平年並であった。しかし、「きらら397」、「ほしのゆめ」で草丈がそれぞれ0.7cm、1.4cm平年より短く、また、乾物重も「きらら397」、「ほしのゆめ」の両品種ともそれぞれ23%、26%平年を下回っていた。

以上により、5月20日時点の作況は、やや不良である。

6月20日 やや不良

事由:移植は平年並の5月21日に行った。移植前の低温により、移植時の地上部乾物重が平年より少なく、苗質は平年より若干劣った。また、移植後も低温、寡照に経過し、6月20日における草丈は、「きらら397」で平年の80%、「ほしのゆめ」で平年の75%で平年を下回った。また、茎数も「きらら397」で平年の91%、「ほしのゆめ」で平年の82%と両品種とも平年を下回った。ただし、主稈葉数は平年に比べ「きらら397」で0.1葉上回り、「ほしのゆめ」では0.3葉下回り、ほぼ平年並であった。

以上により、6月20日時点の作況は、やや不良である。

7月20日作況 平年並

事由:6月下旬から7月中旬まで平均気温が平年より高めに推移し、特に7月上旬は3.0℃上回り、それまで平年より遅れていた生育が促進された。幼穂形成期は平年に比べ「きらら397」、「ほしのゆめ」ともに3日遅かったが、7月20日における主稈葉数はそれぞれ0.5葉、0.4葉ともに平年より上回った。また、草丈は、それぞれ平年比108%、104%となり、茎数もそれぞれ平年比106%、105%と平年をわずかに上回った。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

8月20日作況 やや良

事由:7月下旬から8月中旬まで平均気温が平年より低く推移した。しかし、8月上旬の日照時間は平年比166%と多く、7月下旬から8月中旬の期間でも平年より多かった。そのため、生育は平年並に進んだ。止葉始は平年より1日遅く、出穂期は平年並であった。8月20日における稈長は、「きらら397」で平年比109%、「ほしのゆめ」で105%と平年より長く、穂長も「きらら397」で105%、「ほしのゆめ」で101%で平年並か長かった。また、穂数は「きらら397」で平年比106%、「ほしのゆめ」で107%とやや多かった。

以上により、8月20日時点の作況は、やや良である。

9月20日作況 やや良

事由:8月下旬は平均気温が平年より低く、また、日照時間も平年比74%と少なかった。しかし、9月に入り、平均気温は平年より高く、日照時間も平年より多く推移した。そのため、8月下旬までは緩慢に進んでいた登熟が、その後遅れを取り戻し、成熟期は、現時点で成熟期に達している「ほしのゆめ」で、平年に比べ1日遅れにすぎなかった。㎡当たり穂数は「きらら397」、「ほしのゆめ」で平年比106~107%とやや多く、一穂粒数は平年比101~102%とほぼ平年並であり、稔実歩合はそれぞれ平年より10.2、4.4ポイント高かった。そのため、㎡あたり稔実粒数は「きらら397」で平年比121%、「ほしのゆめ」で114%と多かった。

以上、出穂直前から登熟前半を通しての長期低温が、登熟歩合と千粒重に与える影響を考慮して、9月20日時点の作況は、やや良である。

品種名		きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗	
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	(参考)
播種期	(月.日)	4.18	4.19	△ 1	4.18	4.19	△ 1	4.18	4.18
移植期	(月.日)	5.21	5.21	0	5.21	5.21	0	5.21	5.22
幼穂形成期	(月.日)	7.10	7.07	3	7.08	7.05	3	7.07	7.04
止葉始	(月.日)	7.24	7.23	1	7.22	7.21	1	7.19	7.19
出穂期	(月.日)	8.05	8.05	0	8.04	8.04	0	8.03	8.04
成熟期	(月.日)		9.22		9.21	9.20	1	9.22	9.19
穂揃日数	(日)	6	6.8	△ 0.8	6	7.8	△ 1.8	7	6.0
出穂まで日数	(日)	109	108	1	108	107	1	107	108
生育日数	(日)		157			155			154
移植時地上部乾物重(g/100本)		1.79	2.33	△ 0.54	1.73	2.35	△ 0.62	1.81	2.40
草丈 (cm)	移植時	9.6	10.3	△ 0.7	9.3	10.7	△ 1.4	9.4	9.9
	6月20日	19.7	24.7	△ 5.0	20.2	26.9	△ 6.7	22.0	26.5
	7月20日	60.2	55.8	4.4	60.4	58.2	2.2	67.6	61.2
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.1	△ 0.1	1.2	1.2	0.0	1.0	1.1
	6月20日	308	337	△ 29	288	352	△ 64	335	306
	7月20日	943	887	56	928	888	40	930	802
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.3	3.3	0.0	3.1	3.3	△ 0.2	3.2	3.1
	6月20日	6.9	6.8	0.1	6.3	6.6	△ 0.3	6.7	6.8
	7月20日	11.1	10.6	0.5	10.3	9.9	0.4	10.5	10.4
	止葉	11.8	11.2	0.6	10.8	10.2	0.6	10.6	10.6
稈長	(cm)	68.6	63.1	5.5	70.0	66.4	3.6	71.8	66.4
穂長	(cm)	17.2	16.4	0.8	15.7	15.6	0.1	17.2	16.7
穂数	(本/m ²)	775	731	44	828	774	54	810	700
一穂粒数	(粒)	49.1	48.7	0.4	45.0	44.3	0.7	54.5	57.0
m ² 当粒数	(百粒)	381	356	25	373	343	30	441	399
稔実歩合	(%)	91.0	80.8	10.2	90.2	85.8	4.4	87.1	80.2
登熟歩合	(%)		71.8			76.2			68.7
籾摺歩合	(%)		74.7			69.6			73.5
屑米歩合	(%)		9.9			15.9			13.1
千粒重	(g)		22.6			21.4			21.3
わら重	(kg/a)		68.5			68.8			80.0
精籾重	(kg/a)		71.8			71.3			72.1
精玄米重	(kg/a)		53.6			49.6			53.0
収量平年対比	(%)		100			100		-	100
検査等級			2上	—		2上	—		1下

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 一昨年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。同品種の(参考)は過去2か年の平均値

注3) 耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=180cc/箱

栽植密度 : 30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え

反 復 : 2

注4) 刈り取り面積は一区3.6m²、精籾重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より2.4℃低く、降水量は平年の137%、日照時間は平年の87%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より1.2℃高く、降水量は平年の34%、日照時間は平年の110%であり、高温、少雨、多照に経過した。

9月中旬:平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の4%、日照時間は平年の163%であり、少雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年の63%、日照時間は平年の120%であり、少雨、多照に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	18.3	20.7	△2.4	20.8	19.6	1.2	18.4	17.7	0.7	19.1	19.4	△0.3
最高気温(℃)	22.1	24.8	△2.7	25.7	24.0	1.7	24.0	22.2	1.8	23.9	23.7	0.2
最低気温(℃)	15.5	17.1	△1.6	17.0	15.6	1.4	12.2	13.4	△1.2	14.9	15.4	△0.5
降水量(mm)	76.5	55.8	20.7	16.0	47.6	△31.6	2.0	47.5	△45.5	94.5	150.9	△56.4
降水日数(日)	5.0	4.4	0.6	3.0	3.6	△0.6	1.0	3.7	△2.7	9.0	11.7	△2.7
日照時間(hr)	40.5	46.7	△6.2	54.4	49.4	5.0	77.6	47.7	29.9	172.5	143.8	28.7

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は過去10年間を用い、中央農試で算出した。△は減を示す。なお、データは、平成16年までは確定値、平成17年からは速報値を用いた。確定値の最高・最低気温は、平成15年1月より測定法が変更されている(毎正時→10分計)

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

注3) 9月16日と17日は「アメダス長沼」が欠測であったため、「マメダス中央農試本場」の測定値で代用した。

1. 秋まき小麦(平成20年播種)

9月20日 平年並

事由：播種は9月18日で平年値より3～5日遅いが、安定した越冬のために必要な主茎葉数6葉以上を確保するためには問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	ホクシン			ホロシリコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H20.月.日)	9.18	9.15	3	9.18	9.13	5
出芽期	(H20.月.日)		9.21			9.19	
出穂期	(H21.月.日)		6.05			6.11	
成熟期	(H21.月.日)		7.18			7.25	
冬損程度	(0:無～5:甚)		1.4			1.3	
草丈 (cm)	H20.10.20		21.2			26.2	
	H21.5.20		53.1			52.0	
	H21.6.20		98.0			106.2	
茎数 (本/m ²)	H20.10.20		857			1050	
	越冬前(11月)		1428			1540	
	越冬後(4月)		1556			1688	
	H21.5.20		1167			1359	
	H21.6.20		682			749	
成熟期における	稈長 (cm)		91			103	
	穂長 (cm)		9.2			8.7	
	穂数 (本/m ²)		642			664	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		1.6			3.1	
子実重	(kg/10a)		642			593	
リットル重	(g)		804			789	
千粒重	(g)		37.9			42.6	
品質	(等級)		2等			2等	
子実重平年対比	(%)		100			100	

注1) 平年値は前7か年中、最凶(ホクシンH18、ホロシリH14)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH20)を除く5か年平均(収穫年度)。

2) △は平年より早、短、少を表す。

3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

3. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年より3日早い5月19日であった。5月下旬が低温に経過したが、出芽期は平年並の6月2日であった。主茎長および主茎節数はほぼ平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 やや良

事由：6月下旬までの好天により主茎長、主茎節数、分枝数は平年よりやや多く、開花期は平年よりツルムスメで6日、トヨムスメで3日早かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 やや良

事由：7月下旬から8月上旬にかけてやや低温に推移したが、日照と適度な降水量があったこと、また7月中旬までに十分な生育が確保されていたことにより、主茎長は平年より長く、主茎節数と分枝数も平年並から多かった。また、莢数はツルムスメを除いて平年より多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日 平年並

事由：8月下旬は低温に推移したが、これまでに十分な生育が確保されていたこともあり、主茎長は平年より長く、分枝数も多かった。着莢数は前節に引き続き「ツルムスメ」で平年より少なく「スズマル」で多かったが、「トヨムスメ」と「ユウヅル」は平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

最終

事由：

3. 大豆

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル			トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.02	6.01	0	6.02	6.01	1	6.02	6.01	1	6.02	5.31	2
開花期	(月.日)	7.16	7.22	△ 6	7.27	7.31	△ 4	7.15	7.18	△ 3	7.23	7.27	△ 4
成熟期	(月.日)		10.01			10.19			9.28			10.03	
主莖長 (cm)	6月20日	9.1	8.8	0.3	9.0	9.0	△ 0.0	9.8	10.3	△ 0.5	7.3	8.2	△ 0.9
	7月20日	51.5	43.8	7.7	46.0	41.2	4.8	51.7	48.1	3.6	38.0	37.2	0.8
	8月20日	65.0	58.0	7.0	92.3	86.2	6.1	62.7	60.6	2.1	75.0	71.5	3.5
	9月20日	63.4	58.6	4.8	93.9	87.1	6.8	64.3	61.1	3.2	73.8	72.6	1.2
	成熟期		57.9			87.0			60.4			72.6	
主莖節数 (節)	6月20日	3.4	3.4	△ 0.0	3.2	3.4	△ 0.2	3.2	3.1	0.1	3.1	3.4	△ 0.3
	7月20日	13.0	10.4	2.6	12.1	10.3	1.8	9.9	9.5	0.4	12.3	10.1	2.2
	8月20日	13.7	12.2	1.5	15.7	16.0	△ 0.3	10.1	10.5	△ 0.4	15.2	14.3	0.9
	9月20日	13.7	12.2	1.5	15.8	15.9	△ 0.1	10.4	10.3	0.1	14.8	14.3	0.5
	成熟期		12.0			16.1			10.3			14.2	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.7	5.8	0.9	4.1	4.2	△ 0.1	6.6	6.1	0.5	7.8	7.1	0.7
	8月20日	7.6	6.4	1.2	4.1	4.8	△ 0.7	7.3	6.3	1.0	13.8	11.0	2.8
	9月20日	8.8	6.2	2.6	6.0	4.2	1.8	8.9	6.0	2.9	12.9	10.7	2.2
	成熟期		6.4			3.7			5.8			9.6	
着莢数 (莢/株)	8月20日	50.6	55.8	△ 5.2	46.7	39.2	7.5	72.7	66.9	5.8	158.8	138.8	20.0
	9月20日	47.3	53.1	△ 5.8	53.3	52.9	0.4	61.6	63.6	△ 2.0	136.6	119.0	17.6
	成熟期		53.4			51.1			62.6			114.6	
一莢内粒数		1.75			1.75			1.79			2.33		
子実重 (kg/10a)		335			306.2			372.2			317.6		
百粒重 (g)		46.5			42.6			39.8			15.0		
屑粒率 (%)		2.4			3.4			1.9			2.0		
品質 (等級)		3上			3下			3下			2下		
子実重平年対比 (%)			100			100			100			100	

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

4. 小豆

6月20日 やや不良

事由：播種時期の降雨により、播種期は平年より4日遅い5月29日であった。
6月上旬の気温はやや高く経過し、出芽期は平年より3日遅い6月15日であったが、
6月中旬はやや低温に経過し、現在のところ主茎長と主茎節数は平年を下回っている。
以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 やや不良

事由：6月下旬～7月上旬にかけて降水量が平年より少なく、干ばつ傾向に推移したため、
生育はやや停滞し、主茎節数が平年よりやや多かったが、主茎長は平年より2.4cm低く、分
枝数が2.2本少なかった。
以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 やや不良

事由：開花期は平年より1日早かった。現在のところ前節に引き続き、主茎長と分枝数は平
年を下回り、主茎節数もやや少ない。また、着莢数も平年の91%と少なかった。
以上により、現在の作況はやや不良である。

9月20日 やや不良

事由：成熟期は平年より1日早かった。成熟期の主茎長、主茎節数及び分枝数はやや平年を
下回り、着莢数も前節に引き続き平年の91%であった。
以上により、現在の作況はやや不良である。

最終

事由：

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.29	5.25	4
出芽期	(月.日)	6.13	6.10	3
開花期	(月.日)	7.24	7.25	△ 1
成熟期	(月.日)	9.09	9.10	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	4.1	△ 1.0
	7月20日	18.6	21.0	△ 2.4
	8月20日	60.9	65.2	△ 4.3
	成熟期	65.0	67.1	△ 2.1
主茎節数 (節)	6月20日	0.9	1.6	△ 0.7
	7月20日	8.6	8.2	0.4
	8月20日	12.4	13.1	△ 0.7
	成熟期	12.3	13.0	△ 0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	2.1	4.3	△ 2.2
	8月20日	3.7	5.1	△ 1.4
	成熟期	3.1	4.3	△ 1.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	55.2	60.6	△ 5.4
	成熟期	48.8	53.9	△ 5.1
一莢内粒数			6.10	
子実重	(kg/10a)		339	
百粒重	(g)		13.2	
屑粒率	(g)		6.4	
品質	(等級)		3中	
子実重平年対比 (%)			100	